

竹富方言辞典

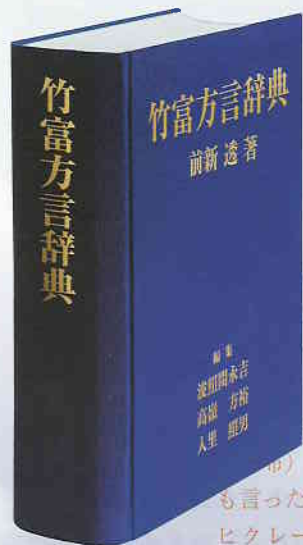
前新透 著

編著

波照間永吉

高嶺方祐

八里照男



本書は、前新透（大正13年4月5日竹富島生まれ）が、二十数年の歳月をかけ、自己の内省によって得た竹富方言語彙と、島に住む先輩話者からの聞き取り調査により収集した語彙・文例を基に編纂されたものである。

〔主な特長〕

- ・収録語数 約2万語
- ・竹富方言辞典として最大にして最も詳細な記述内容
- ・国際音声字母による音声表記
- ・伝統的な竹富島の民俗文化に関する豊富な記述
- ・沖縄古語・石垣方言・首里方言との比較検討を行い、竹富方言の独特な姿を明らかにした
- ・共通語から竹富方言を逆引きできる索引編

先行予約割引あり!! (2月28日まで)
2011年3月刊行予定 約1500頁

サイズ：B5 約1500頁 巻頭カラー 価格：26,250円(税込み)
送料：600円～1,300円(ゆうパック60サイズ 送付地域によって異なります)



- ムニ バツキター (言葉を忘れたら)
- シマ バツキ (生まれ島をも忘れ)
- シマ バツキター (生まれ島を忘れたら)
- ウヤ バツキルン (親までも忘れる)

古来、私たちの愛するふるさと竹富の人々の生活や文化のすべてが根差しているテードウンムニ。みんなで力を合わせ、いつまでも大事にしていきましょう。

(前新透)

お問い合わせは 南山舎 まで
〒907-0004 石垣市字登野城88-1
[Tel] 0980-82-4401 [Fax] 0980-83-7585
[E-mail] webmail@jaima.net [HP] jaima.net

サキマフン
の村勝真狂言で、竹富武士
士に勝つ)
フニ (tea) (名)
西表で松
造つ
りのため、竹富と西表(特
命)を往き来した。イタフニと
も言った。【例】マツユ キジリテイ
ヒクレール テードウンフニヤ
テードウントゥ ユブ カユイドウ
シツタラ (松をくり抜いて造った竹
富舟は、竹富島と由布島の間を通つ
た)

テードウン・ムニ [te:dum muni] (固)
竹富言葉。竹富方言。【例】バヤー
テードウンムニユ ヌーサラ ダ
イジニショーラ (私たちは竹富島の
言葉をこの上なく大事にしましよ
う)

デーネ (一) [te:ne] (名)
手伝い。【例】ガヤ カリテイ
ヤー ヒクリヌ テーネー シツタ
ン (茅を刈って家づくりの手伝いを
した) ヤームトゥヌ マミビキ
デーネシーナツティドゥ アロ (本

前新透著『竹富方言辞典』刊行のご案内

拝啓

突然のお便りを差し上げる失礼をお許してください。日本最南端の出版社・南山舎からの刊行物のご案内です。

さて、かねてより進めてまいりました前新透著『竹富方言辞典』がいよいよ刊行の運びとなりました。

これは竹富島出身の前新透氏が20余年の歳月をかけて収集した語彙・文例に、さらに波照間永吉氏・高嶺方祐氏・入里照男氏と南山舎が6年にわたって編集・加筆をおこない刊行するものです。

竹富島は日本最南端の八重山諸島のなかにある周囲約9キロ、人口320人の小さな島です。隆起サンゴ礁の石ころだらけの島ながら、島人は古来の信仰を大事にし、切磋琢磨し一致協力して事にあたる「うつぐみ」精神で逞しく時代を切り開いてきました。島最大の行事種子取祭は1977年に国の重要無形民俗文化財に指定され、白砂の道と赤瓦屋根の連なる集落は1987年に町並み保存地区に選定され今では年間40万人の観光客が島を訪れます。

『竹富方言辞典』は、収録語数17,710語、頁数1,560ページにおよぶ「小さな島の大きな辞典」です。多くの皆様にご愛用いただければ幸いです。

案内チラシをお送りいたしますのでどうぞご検討ください。

なお、完成を記念して2月28日までにご予約いただいた方に「先行予約」特価で販売してまいりましたが、沖縄文化協会、奄美沖縄民間文芸学会の会員の皆様に限り3月20日（日）まで延長して「先行予約」特価19,800円でご提供させていただきます。この機会にどうぞお求めください。以上、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

敬具

南山舎株式会社

代表取締役 上江洲儀正

■『竹富方言辞典』仕様

著者：前新 透

編著者：波照間永吉・高嶺方祐・入里照男

発行所：南山舎株式会社

発行日：2011年2月22日

判型：B5判 頁数：1,560ページ

収録語数：17,710語

定価：26,250円（税込） *先行予約特価：19,800円（税込み）

発行部数：500部